

研究のあゆみ

年 度	研 究 主 題
昭和 28	学習指導法の研究
29～30	学習指導法の効率化
31～32	最近における学習指導の問題とその解明
33～36	改訂教育課程の問題点とその解明
昭和 37	道徳教育の計画とその実践
38～40	学習指導法の改善
41～46	創造性を育てる学習指導
47～50	発展的な力を育てる学習指導
51～53	たくましさを育てる教育課程の創造
54～55	体で学ぶ活動を重視した各教科，道徳の展開
56～59	豊かな自己実現を目指し，自ら学習する力を育てる授業の創造
60～62	子ども自ら学び取る授業
63～平成 3	豊かな可能性を自ら追求する子どもの育成
平成 4	自他共に生きる授業の創造
5～7	自他共に生きる子どもの育成
8～10	自他共に生きる力を高める教育課程の創造
11～13	共に学びをつくる授業の創造
14～16	「わかる・できる」喜びや楽しさを味わう授業の創造
17～19	自ら学び続ける授業の創造
20～23	夢や目標をもち，共にみがき高め合う子どもの育成
24～30	個の確立を目指す授業の創造
令和 元～5	新たな価値を創り出す資質・能力を育む授業の創造
6	ボトムアップで創る！子どもと教師の新たな学び
7～	見つめ、共に切り拓く子どもの育成

昨年度の研究

研究主題		見つめ、共に切り拓く子どもの育成	
研究内容			
研究主題を「見つめ、共に切り拓く子どもの育成」と設定した。「見つめ、共に切り拓く子ども」とは、自分や他者、もの、こと（学校や社会を含む）に深く目を向け、それらの現状や特徴、課題、可能性などに気付いたことを基に、様々な立場や考え方、価値観をもった多様な他者と協働し、感性を豊かに働かせて工夫・発想したり、論理的・多角的・批判的に考えたりして、新しく適切な考えやもの、ことを創造しながら、よりよい学校や社会、幸福な人生の実現を目指して挑み続ける子どもである。 そして、学校全体で重点的に育成を目指す資質・能力の要素の設定、教育活動の工夫について明らかにした。			
各教科等の研究テーマ			
国語科	「私」に出会い、新たなページをめくる子どもの育成	図画工作科	造形活動に没入し、自分なりの意味や価値をつくりだす図画工作科授業の創造
社会科	よりよい社会を切り拓く子ども ～真正の学びのデザインを通して～	家庭科	問い直し、豊かな生活を共創しようとすることができる家庭科授業の創造
算数科	一人一人が「問い」続ける算数科授業の創造 ～「問い」を見いだす教育活動の工夫を通して～	体育科	運動を認識して学びを深める体育科授業の創造
理科	自然を見つめ、科学的に問題解決して切り拓く理科授業の創造	道徳科	複合的に道徳的価値を見つめ、よりよい生き方についての考えを深める子どもを育成する道徳科授業の創造
生活科	夢中で活動し、共に新たな活動を創り出す生活科授業の創造	外国語科	他者を慮り、コミュニケーションの試行錯誤を楽しむ子どもを育成する授業創造
音楽科	音や内面を見つめ、創造性豊かに共鳴し合う子どもを育てる学びのデザイン		

本年度の研究

研究主題を「見つめ、共に切り拓く子どもの育成Ⅱ」とし、教科等教育の研究に重点を置いて、学ぶ楽しさや喜びを味わうことができる学びの過程の具体化や学習内容の更新について研究を進めていく。
--